

# 城南近在三十三所観音巡礼

竹中 友里代

僧侶が修行を行う聖地、霊場を巡る巡礼は、朝鮮半島を経由して中国仏教が伝えられて以来、入唐僧が求法のための五台山巡りを我が国に紹介したことが起源という。とりわけ霊場を求めて順番に巡る巡礼・遍路は、観音信仰の発展により観音巡礼が平安末期に畿内を中心に始まったとされる。後に千社詣や西国三十三所巡礼など多くの聖地・遺蹟を巡る旅が庶民に受け入れられ、近世になると「洛陽三十三所観音巡り」をはじめ、各地の観音・聖地を組織して廻国巡礼の旅が庶民の人気となる(1)。

近世には木津川市加茂町の海住山寺にはじまり佐牙神社神宮寺の恵日寺(現寿宝寺千手観音)や蟹満寺を巡り泉橋寺で満願の「南山城三十三所観音霊場」がある。近年は木津川市西教寺から精華・京田辺市を巡り神童寺に至る「城南三十三所観音霊場」や「南山城十一面観音巡礼」などが新たに設定され南山城各地に朱印を求めた巡礼は、今なお盛んである。

八幡市の念佛寺には、現在の本尊阿弥陀如来坐像を迎える以前の旧本尊の観音像がある。厨子に納められた千手観音菩薩立像である。像高 25.5 cm の小像ながら、寄木造り玉眼、合掌手・蓮華手・脇手に錫杖を持つ。「城南近在三十三所観音巡拝礼処」の 11 番目がこの念佛寺観音像である。「城南近在三十三所観音巡拝礼」とは、観音信仰に基づき、華台寺 12 世聖誉心阿が文政年間に発案し、二日間の日程で巡拝すると西国三十三カ所と同じ観音の慈悲が授けられるという、南山城版の観音霊場のひとつである(2)。

久御山町坊之池の観音寺から、北川顔極楽寺、淀長円寺などを巡り、八幡を経て宇治大久保や寺田を一巡し、最後の三十三番が久御山町中島の華台寺(写真1)で満願となる。文政8年(1825)4月発願主真阿施板の「巡拝礼処」(木版一枚摺)の手引きにより次頁に一覧を示した。華台寺の門前には「文政八年四月八日 城南近在巡観世音礼処 三十三番、



写真1 久御山 華台寺



写真2 城南近在観音礼所石碑

発願主真阿」の石碑（写真2）が建つ。華台寺は、聖観音・如意輪観音・十一面観音の各一軀と三十三所観音の小像三十三体を祀る。寺院間の距離は長くても数キロ程度で近郷近在の早回りの観音霊場であった。

八幡には九番に宿院大乘院、十番太子坂観音堂、十一番に念佛寺、そして十二番に正福寺、次いで十三番森町の観音寺（観世堂）と八幡市内5カ所を巡る。八幡では、南山城でも早くに八幡八景が柏村直條により元禄期に選定されている。「雄徳山松」「極楽寺桜」「亥鼻坂雨」「放生川螢」「安居橋月」「月弓岡雪」「橋本行客」「大乘院鐘」である。観音霊場巡りで八幡は大乘院に至れば、宿院極楽寺も目前である。

男山参詣道でも急峻な太子坂を上り護国寺薬師堂前の観音堂を目指し、男山の松と月弓岡を嘆賞し、山下に戻り放生川にかかる安居橋の向こう側に念佛寺や正福寺がある。八幡の観音霊場巡りは、八幡八景の名所も合わせて観賞できる。

念佛寺には、八幡八景の内「雪月花」の図を抜き出して、それぞれに歌三首が添えられた扁額（写真3）がある。「明治十年十一月中旬 八十一叟長濱尚次（印）」と記されている。石清水八幡宮の宮大工で、八幡の地誌「男山考古録」の著者である長濱尚次は、翌年の明治11年1月30日に逝去している。雪月花とは、四季の自然美を表し、八幡八景の内でも美しい三所の景色を自ら描き自作の歌を添えている。そのうち安居橋月に添えられた歌は「国民もやすく住めとて 川はしに はれわたる月の 名をみかくかけ」とある。木津川の付替え工事で大きく八幡側へ流路を変更する明治政府の威信をかけた水害対策によって、神領住民が日本国民となり大川の近くにあっても平安に住むことを詠んだものである。長濱尚次の子廣次はこの工事の治河局山方役人として材木調達や人夫の差配に当たっている。慶応2年に「八幡山案内絵図」とともに「八幡山名所案内記」を開版し、霊場巡拝と名所めぐりで人々に好まれるスポットを熟知していた長濱の最後の作品ではなかったか。



写真3 八幡八景の内 雪月花三所図 長濱尚次筆（本紙寸法 714×298mm）

城南近在三十三所観音霊場

番	寺院名	所在地
1	観音寺	坊之池村
2	極楽寺	北川顔
3	長円寺	淀城下
4	光明寺	同淀池之上丁
5	常念寺	水垂(淀)
6	円通寺	美津(美豆、八幡郷)
7	西岸寺	同所
8	西光寺	際目村(淀、八幡郷)
9	大乘寺	八幡宿居(宿院)
10	観音堂	太子坂薬師前
11	念佛寺	山路町(壇所)
12	正福寺	同所
13	観音寺	森之町
14	東光寺	生津村(八幡郷)
15	観音院	江之口村(久御山町)
16	専念寺	田井村
17	称名寺	佐古村
18	浄安寺	佐山村
19	西林寺	東林村
20	瑞泉寺	大久保村
21	慈尊院	同村
22	西照寺	寺田乾庄
23	長光寺	同村
24	三縁寺	同村
25	高岳寺	同村
26	念仏寺	同村
27	観音堂	同夜叉
28	円蔵院	新田町
29	法成寺	羽拍子村
30	観音寺	小倉村
31	来迎寺	伊勢田村
32	安養寺	東一口村
33	華台寺	御牧

【注】

(1) 佐藤久光『遍路と巡礼の社会学』2004年、人文書院。北川宗忠『全国「三十三所巡礼」

総覧』1995年、流通科学大学教育協会

(2) 『月刊南山城』大3号、1977年10月。

『宇治市史』3巻466頁・6巻660頁。『城陽市史』2巻821頁。『久御山町史』2巻1116頁。宇治市歴史資料館小嶋正亮氏より資料提供・ご教示いただいた。

## 表紙解説

	1 2 3
5	4
(裏)	(表)

1. 西遊寺古文書調査の様子
2. 念佛寺門前（撮影：中井正寛）
3. 念佛寺古文書調査の様子
4. 安居橋から男山を望む（撮影：中井正寛）
5. 八幡清水井の路地田町（たまち）（撮影：中井正寛）



京都府立大学文化遺産叢書 第10集

### 石清水門前寺院・南山城地域の古文書

—京都府歴史資料の調査—

編集 竹中友里代（京都府立大学文学部特任講師）

東昇（京都府立大学文学部 准教授）

発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

京都教区八幡組浄土宗青年会

発行日 2016年3月30日

印刷 双林株式会社

〒601-8106 京都市南区新千本通十条下ル

---